

地域と農業を結ぶ、ふれあいと幹の発信源

Ag fresh

2018. VOLUME.96

あぐ
れっしゅ

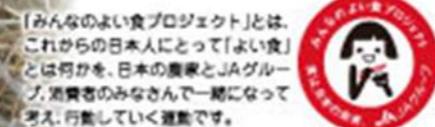
3

特集 女性部活動に
参加してみませんか
「楽しく学ぼう」が
活動のモットーです！

信頼される牛飼いに！



みんなのよい食プロジェクト
JA十和田おいらせ



腕じまん

地域じまんのモノ語り



おすすめ料理 中国の家庭料理を教えてもらいました！
ジャガイモのシャリシャリサラダ

材料(4人分)

ジャガイモ (メークイン) ... 6個	A 塩 ... 小さじ1/2
	砂糖 ... 小さじ1/2
	味の素など ... 小さじ2
	酢 ... 少々

作り方

- ① ジャガイモの皮をむき、千切りにして水に10分ほどさらす
- ② 鍋に水を入れ沸騰させ①のジャガイモを2分ほどゆでる
- ③ ゆでたジャガイモを流水で冷やし、水気をしっかり切る
- ④ Aを加え、よく混ぜて出来上がり

ナガイモときくらげの豚肉炒め

作り方

- ① きくらげは水でもどし、きれいに洗う
- ② ナガイモの皮をむき、厚さ1cmほどの半月切りにする
- ③ 豚肉を食べやすい大きさに切る
- ④ フライパンに油を引き、豚肉、きくらげ、ナガイモを炒める
- ⑤ Aを加えて出来上がり

次回外務予定日 4/14(土)～18(水)

■平成30年3月9日発行 ■発行／十和田おいらせ農業協同組合 TEL.0176-23-0311 FAX.0176-24-1829
■編集／JA十和田おいらせ 広報編集委員会 ■公式ホームページ <http://www.jatowada-o.or.jp> ■Email:soumu@jatowada-o.or.jp ■印刷／アート印刷



表紙写真紹介

● シリーズ 日本の農業に生きる後継者 Vol.72

けいしょうびと



はしもと 橋本 守也さん(35)
はしもと もりや
横浜町支店管内

J Aの青年部加入が刺激に

10年ほど前、会社勤めを辞め就農した。

繁殖農家の1日は、早朝5時に始まる。朝と夕方近くの1日2回、2～3時間かけてエサの給与から牛舎内の掃除、牛の体調管理などを行なう。牛の死亡事故があると「牛の体調管理不足を痛感し、後悔と反省の日々だ」という。

血統の組み合わせ、飼養管理など、父親の意見と合わないことが多い。和牛改良や飼養管理の技術力を高めるため、JAの講習会にも積極的に参加する。また、JA青年部の活動も牛飼いの情報交換の場になる。「誘われるがままに青年部に加入了けど、刺激になったり、知り合いが増えて良かった」と喜ぶ。

父親が始めた繁殖農家を受け継ぐため、勉強の日々。父親と二人で牛の世話をし、最近では経営面も少しづつ任されてきた。「青色申告をしっかり覚え、手取り額を増やす経営をしていきたい」と話す。和牛子牛の取引頭数の減少で、全国的な1頭平均価格は80万円弱と高止まりが続く。「肥育農家にとって、高い買い物になるだけに信頼される牛飼いにならないと」の思いを強くする。

仲間と一緒に農業を

町の農業を見渡すと、離農者も多く、耕作放棄地が増え、寂しさを感じるという。「同じ志を持つ仲間と支え合って、野菜や牛を増やすことが夢。休日がしっかりとれる経営スタイルをつくり、地域に後継者が増えてくれたらいいですね」と夢を抱く。

プロフィール…はしもと もりや 横浜町
家族構成／父、母 組合員＝正勝さん
農業経営／繁殖30頭、子牛15頭、牧草地15ha、
水稻、ナガイモなど。

**JA共済
くるまの保障 自動車共済**
～お見積り依頼はお気軽に～

お車の事故による賠償やご自身とご家族の怪我、修理に備える

相手方への保険
ご自身とご家族の保障
お車の保険

○車の保険ってどのくらいかかるんだろう？

○安く契約できる方法はないかな？

○保障の内容ってどんなのがあるんだろう？

お見積り試算、保障内容等、本支店の共済窓口でお気軽にご相談ください

本店(十和田市官庁街通り)、大深内支店、藤坂支店、
ももいし支店、下田支店、上北支店、十和田湖支店、七戸支店、
横浜町支店、むつ支店

仕事の都合で窓口まで行けない…

キャンペーンWebサイト
(<http://car-cp.ja-kyosai.or.jp/>)でお見積りもできます。JAの自動車共済のお見積りをしていただき、キャンペーンWebサイトからご応募いただくと、素敵な商品をプレゼント！

※詳しくはWebサイトをご確認ください

3/31
まで

■自動車事故の連絡先■

平日 8:00～17:00

◇【十和田・ももいし・下田・上北・十和田湖・七戸のご契約者さま】
共済部共済事務課／TEL 0176-23-0317

◇【むつ・横浜町のご契約者さま】
むつ支店金融共済課／TEL 0175-22-1315

土日・祝日、営業時間以外の連絡先

◇事故のご連絡先／TEL 0120-258-931

◇レッカー・応急対応のご連絡先／TEL 0120-063-931

ローン相談会(本支店のご案内)

毎月第3日曜日 9:00～15:00

相談会場
本店・下田支店
むつ支店
上北支店・七戸支店

3月
18日
4月
15日

農業機械・農業に関わる設備資金等の相談も承ります。



各種ローンがネットで仮申込みできます。
24時間365日受付中 検索方法は「JAネットローン」で検索!!

JA銀行なら給与振込がおトク！

いま、JA銀行を給与受取口座として新たにご指定いただくと
応募者全員に
松下奈緒のJA銀行オリジナルQUOカード
5,000円分をプレゼント！

お申込期間：平成30年5月末日まで(当日消印有効)

※対象：平成30年2月から6月に新たにJAで給与受取口座を指定し、いずれかの月において5万円以上の給与のお受取りが確認できたお客様。

もくじ contents あぐれっしゅ vol.96 3	特集 4～6p 女性部活動に参加してみませんか 「楽しく学ぼう」が活動のモットーです！～ <ul style="list-style-type: none"> ・共済部 くるまの保障 自動車共済 ～お見積り依頼はお気軽に～ ・金融部 ローン相談会 3/18、4/15 2p <ul style="list-style-type: none"> ・継承人 表紙写真紹介 橋本 守也さん(横浜町支店管内) 3p ・あぐれっしゅ情報① 6.7p ・水稻の防除薬剤一部助成 ・JA単独の農家支援 2千万円 NEWS&TOPIC 地域の話題 8p <ul style="list-style-type: none"> ・ナガイモ実績検討会 促成タラの芽収穫最盛 ・布施さんが十和田市農業賞に 一ほか あぐれっしゅ情報② 11p <ul style="list-style-type: none"> ・奥瀬牧野組合生産「春待白清」が県基幹種雄牛に ・米農家が関西で消費宣伝 ふれあい広場 12p <ul style="list-style-type: none"> ・五穀豊穗祈願～おいらせ町「百石えんぶり」 頭の体操 パズル? 13p information 14p <ul style="list-style-type: none"> ・ナガイモ早掘りNo1決定戦開催 ・4月から営業時間が変わります！ ・子会社通信・子牛市場 ・理事会だより 一ほか 役員室のつぶやき 腕じまん 16p <ul style="list-style-type: none"> 地域じまんのモノ語り ・実習生が感謝込め、中国料理披露 JAの概況 平成30年2月末日現在 <ul style="list-style-type: none"> 正組合員数／6,800人 准組合員数／5,262人 役員数／26人 職員数(准職・嘱託含)／291人 貯金高／788億7,277万円 貸出高／153億9,079万円
--	--

下北地域の伝統菓子「ベコ餅」の継承が
家の光29年5月号で6ページにわたって紹介された(女性部むつ支部)。



十和田市の秋祭りで、米づくりの一年を表現した「お米ありがとう音頭」を披露(女性部十和田支部)。



組織活性化に向け、JA常勤役員と意見交換
(本部女性部役員)。



J A食材と地元産の野菜を組み合わせた料理教室(女性部おいらせ町支部)。



支店ふれあいまつりで、つきたての餅を
無料で振る舞う(女性部上北支部フレッシュミズ)。



支店ふれあいまつりで、おにぎり300個を
無料で振る舞い地元産米の消費拡大をPR
(女性部上北支部)。



冬期活き活き講座で「大福づくり講習会」
を開く。もち米、米粉、小豆などは地元産を
使用(女性部十和田支部)。



七戸町内の保育園(子育て支援)で、おやつ
作りの出張講座を開く。参加親子に「豆しと
ぎ」の作り方を教える(女性部七戸支部)。



地産食材フェスタで各支部の女性部も料
理を披露。参加して豪華料理を堪能(全支
部)。



家の光を活用し、手ぬぐいで「帽子と腕ぬき」づくりに挑戦!
(女性部十和田湖支部)。



横浜町のイベント「菜の花フェス」で、特産ジャガイモなど
を使ったおやきを販売(女性部横浜支部)。



女性部活動に参加してみませんか

「楽しく学ぼう」が 活動のモットーです!



当JA女性部は部員数560人、7支部で構成され、食の伝承や地産地消のPR、手芸・料理の講習会など、それぞれ地域の特徴を生かした多岐にわたる活動を展開しています。

「楽しく学ぼう」が活動のモットーで、今後は農家ではない人たちにも参加を呼びかけ、

活動の輪を広げていきたいとしています。今回の特集では、活動の様子などを紹介します。



JA女性組織は、ほとんどのJAにあり、全国に681組織、60万人のメンバーがいます(平成27年12月現在)。都道府県段階には、JA都道府県女性組織、全国にはJA全国女性組織協議会が設置され、JA女性組織の活動をサポートしています。当JAでは女性部に対する活動助成も行ない、各支部では主に、食農教育や地産地消にかかる活動、助け合い活動、環境保全活動などに取り組んでいます。また、若い世代の組織として、「フレッシュユニミズ(フレミズ)」があります。食や農業に関心のある女性が集まり、料理教室や手芸など、いきいきとした活動をそれぞれの地域で行っています。

農、暮らしに关心のある女性が集まって活動する組合組織です。農家でも農家でない人でも誰でも気軽に参加でき、メンバーには20代から80代まで幅広い世代の人があります。

JA女性組織とは:

組織の目的

- 1 組織活性化のために:
 - ① JA常勤役員との懇談会
 - ② 役員及び部員の視察研修
 - ③ 部員の加入促進
 - ④ 家の光3誌
- 2 生活を充実させるために:
 - ① JA冠婚葬祭の普及活動
 - ② 冬期講習会の開催など
 - ③ 健康を守るために:
 - ① 高齢者福祉活動への取り組み
 - ② 地域農業を守るために:
 - ① 農畜産物の消費拡大イベントへの参加(JA収穫祭、市町村イベントへの参加)など
- 3 普及推進など
- 4 普及推進など

全国共通のJA女性組織要綱では、「わたし」から始まり、JAというメンバー・シップをもつ「仲間」、さらに「地域」へと活動視野を広げいくことを明らかにしています。個人を基本としつつも、地域に責任をもって地域をより良い方向へ向かうために活動をしていくこうというものです。



J A十和田おいらせ
フレッシュユミズ代表
林綾子さん



○活動を通じて学んだこと…

県内外のフレッシュユミズ部員との交流、様々な学習会への参加など、組織に属しているからこそ体験できることです。現在、フレッシュユミズは上北支部にしかありませんが、農繁期の合間を見て、他支部の同世代の人たちとの交流も楽しんでいます。日帰りでの視察研修、テーブルマナー教室、JAイベントへの参加など。これからは、地域の人たちがもっと参加できるよう情報発信もしていきます。そして地域の子どもたち、子育て世代のお母さんたちに研修で得てきたことを伝える活動もしていきたいです。

農業経営=水稻2.8ha、ゴボウ3ha、ナガイモ1.2ha、ニンジン2ha、ニンニク1.2ha

平成29年4月、青森県JA女性組織協議会理事
フレッシュユミズ代表に就任。

○部員加入推進に向けて…

新たな挑戦として、サークル的に参加をオープンにし、まずは組織を知ってもらい、喜びを共有できる活動をしていきたいですね。すでに、参加自由にしている支部もありますが。「やっていることが楽しい！」って思うことが大事。食べる喜び、作る側の思いを伝えたり、クリーン作戦による町への貢献など、できるここと、やることはいっぱいあります。子どもたち、若い世代と一緒に楽しみ、そして個々の自信につながることをしていきたいです。仲間がいてこそ、生きる力になり地域の輪が広がります。気軽に参加して欲しいです。

農業経営=水稻1.1ha、ナガイモ2.2ha、ゴボウ2ha

平成29年4月、青森県JA女性組織協議会会長に就任。

女性部加入等に関するお問い合わせは 経済部購買課まで TEL.0176-23-0314

正組合員の1戸複数組合員制のすすめ

農業者と地域の人たちがともに出資し、運営・利用されている組合員の、組合員による、組合員のための組織が協同組合です。当JAでは、組織・事業基盤強化という観点から、従来の「戸」中心の正組合員から「個」中心の正組合員としてとらえ、正組合員の1戸複数化(後継者・女性の正組合員化)を促進しています。みなさんも正組合員になり、協同組合活動に参加してみませんか？

正組合員加入に関するお問い合わせは 総務部総務課まで TEL.0176-23-0311

平成29年度農作物低温長雨対策本部

あぐれっしゅ情報①

水稻の防除薬剤費一部助成

支援金920万円！

平成29年度の農作物低温長雨支援対策として、次の助成要件を満たした組合員へ水稻穗揃い期防除薬剤費の一部を助成する。

1. 助成要件

- ① JAより水稻穗揃い期防除薬剤を購入
- ② JAと米出荷契約を締結し出荷実績のある組合員
- ③ 助成基準面積はJA米出荷契約面積が上限
- 1) 助成金額 10% 当り300円(税込)※【算出根拠】無人ヘリ防除薬剤料金(750円(税込)/10%)の4割
支援金額 9,171,690円(税込)/対象農家1,832戸
- 2) 振込時期 平成30年3月下旬

※3月の支援金の支払い完了をもって同対策本部を解散する。
※2月の理事会報告事項

J A単独の農家支援2千万円

種苗費、遮光フィルム購入費・土壤診断料金を一部助成



あぐれっしゅ情報①

(平成30年度・産地拡大対策事業)

野菜の生産拡大、良品質生産による農業所得の増大を目指し、作付面積の拡大部分に対する種苗費の一部助成、土壤診断実績に対し診断料の一部助成、遮光タイプフィルム購入費の一部助成を実施する。2月27日の理事会で決定し、対策費は総額2千万円を見込む。

1. 種苗費助成

(1) 全地区対象品目助成

- 1) ナガイモ:優良種苗更新として購入したムカゴ代金に対して1%当たり1,000円(税込)の助成を行う。※但し、標準出荷数量(2トン/10a)の8割以上の出荷がある生産者【助成額変更・継続】
- 2) ニンニク:農産登録面積が過去3カ年の最大面積より増加分に対して50,000円(税込)/10aの助成を行う。【継続】
- 3) 施設野菜:ハウス栽培での収量・品質向上のため、JAより遮光タイプフィルムを購入した場合、購入金額の1/5を助成【新規】

(2) 地区指定品目助成

- 1) 地区指定品目:農産登録面積が過去3カ年の最大面積より増加分に対して基準種苗費の1/2を助成【助成単価変更・継続】

○品目別基準種苗費単価(税込)

① ゴボウ	9,000円/10a	⑤ トマト	30,000円/10a	⑨ 一球入魂力ボチャ	20,000円/10a
② ネギ	30,000円/10a	⑥ キャベツ	15,000円/10a	⑩ ホウレンソウ	15,000円/10a
③ ダイコン	15,000円/10a	⑦ 春菊	15,000円/10a	⑪ イチゴ	30,000円/10a
④ ニンジン	20,000円/10a	⑧ 馬鈴薯	25,000円/10a		

○支店別指定品目

大深内支店	ネギ・ゴボウ	十和田湖支店	ホウレンソウ・春菊
藤坂支店		七戸支店	夏秋トマト・ゴボウ・ネギ
三本木事業所		横浜町支店	馬鈴薯・ゴボウ
ももいし支店	ニンジン・キャベツ・ゴボウ	むつ支店	イチゴ・一球入魂力ボチャ・夏秋トマト
下田支店	ダイコン・ニンジン・ゴボウ		
上北支店	ゴボウ・ニンジン・ネギ		

(3) 助成要件

- ① 農産登録の実施
- ② JAより種苗購入
- ③ JA出荷(JA平均単収以上であること)
- ④ ①②について、国・県・市町村及びJA等から助成を受ける場合は、JA助成金額との差額を助成する。

2. 健康な土づくり診断料助成(土壤診断料の一部助成)

30年度の実績に対し1点540円(税込)の助成を行う。【継続】

※対象期間 平成30年4月1日～平成31年2月12日受付分

3. 事業費 20,000,000円(税込)

※2月の理事会案件

お問い合わせ等は、本支店 営農担当まで